

ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】 No. 2 理論 最も大切な成功法則
西田 文郎 著 現代書林
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2013年1月1日 Vol. 123
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

不易のリーダー

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

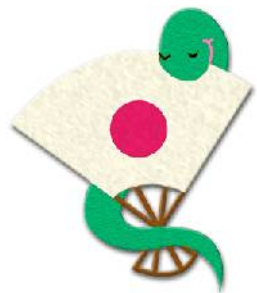
昨年、師走には衆議院議員の選挙もあり、日本の政治体制がリセットされました。考えてみれば世界中でたくさんの国の指導者が変わりました。

この20年間の日本を振り返って見てみると、いろんな意味で弱い国になってしまったと思うのです。経済をはじめ、教育など様々です。特に日本の低成長が続く中、米英仏独といったG7に集まってくる先進国はGDPをほぼ2倍に増やしているのに比べ、日本のGDPはほとんど横ばいの状態です。言い換えれば、日本の国力はこの20年で半分になっているということです。国際社会の力関係は相対比較で決まりますから、日本が他国に比べて成長していないというのは、それだけ国力が弱くなったという意味になります。いまや日本は経済大国とは言えないのかもしれない。

今の日本の現状を考えるならば、リーダーはもっと強い危機感を持っていかなければならないと思います。それと同時に我々国民一人一人が声を出し、国づくりや地域づくりに参加していかなければいけない状態になっているのだと強く感じます。ある特定の人に任せるのではなく、自分のこととしてそれぞれができることから少しずつ行動していくことが大切だと思います。

「不易流行」(ふえきりゅうこう)という言葉があります。いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。辞書には「不易」はいつまでも変わらないこと。「流行」は時代に応じて変化することと、また変えていかなければならないものとあります。

今の日本を元氣な国に戻すのは大変なことだと思います。乗り越えなければならぬことがいくつもあります。大切なのは何度挫折しても立ち上がるという捨て身の気概があるかです。急激な時代の変化に対して、古来よりの「不易の精神」で立ち向かえる人が望まれます。不易の精神を持っている人は、流行に対して間違わず最善の選択ができます。「不易のリーダー」の登場を心から望みます。これからの日本を担っていく人材を育てるにはやはり「教育」の充実が必要になってきますね。



スキンシップ遺伝子

全国でも数百名という難病中の難病と言われる「表皮水疱症」という病があります。

通常、私たちの皮膚は三層からなっていて、それがくっついているそうです。「表皮水疱症」はそれが不十分で、夜、寝返りを打つと皮膚がずれて破れてしまいます。そして、いつも水疱ができるので、それを一つひとつ専用の針で潰し、軟膏を朝夕二度塗らなければならないそうです。

この難病の研究と治療を続けている大阪大学医学部の玉井先生が、信じられない現象に気づきました。それは、毎日激痛と戦っている難病で、いつ治るかもわからないこの難病を背負っている子どもたちが一人の例外もなく、いつもみんな笑顔で明るいということだそうです。なぜこんなにも明るく、逆にこちらが癒されるような笑顔を見せてくれるのでしょうか。

それは、母と子のふれあいによって活性化される「スキンシップ遺伝子」の働きなのだそうです。生まれてきた時から毎日毎日、朝夕二回、母が水疱を潰して、手のひらで軟膏を塗っています。その母の手のひらが遺伝子に働きかけ、恐怖・驚き・怒り・悲しみ・喜びなどの感情の発達を促して、あの優しい笑顔を生み出しているというのです。

難病やハンディを持っている人はたくさんいると思いますが、その大変な逆境を背負っても、まわりの人を癒すことができ、明るく生きていける姿に学びたいと思います。五体満足で生まれた自分をもっと大切にしたいと思います。



【座右の銘にしたい名言】



逆境もよし、順境もよし。要はその与えられた境遇を

素直に生き抜くことである。 (松下幸之助/松下電器産業創業者)